

# 受章おめでとうございます

令和2年春の叙勲、第34回危険業務従事者叙勲、高齢者叙勲で市内から次の方が受章されました。



春の叙勲 瑞宝双光章

まなおか りつお  
**眞岡 律雄氏**  
(甲南町寺庄)

昭和51年から43年間の長きにわたり、県立高等学校や中学校など、複数校の歯科医として児童・生徒に歯の大切さを教えるとともに、虫歯予防に努め、学校歯科保健の向上に貢献されました。

また、地域の歯科医として住民の歯科治療、口腔保健衛生思想の普及、向上、啓発に尽力されました。



危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章

こが あきのり  
**古賀 秋則氏**  
(甲南町希望ヶ丘本町)

昭和45年3月に陸上自衛隊に入隊され、1等陸尉として退職されるまで、約50年の長きにわたり業務に精励されました。

主に関西地区補給処桂支処に勤務され、阪神淡路大震災や東日本大震災で後方支援業務に従事されたほか、カンボジアや東ティモール、南スーダン、イラクなどへの自衛隊派遣に際し、物資等を現地へ送るなど、国際貢献活動への支援業務に尽力されました。



危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章

とみなが きくお  
**富永 喜久雄氏**  
(水口町杉中)

昭和46年に旧水口町消防本部に消防吏員として奉職されました。昭和48年には甲賀郡行政事務組合甲賀郡消防本部が発足し、38年の長きにわたり消防業務においてご活躍されました。

平成17年には、本部予防課主幹に就任され、住宅用火災報知器の普及啓発活動に尽力されました。また、平成19年、危機管理室長に就任された際には、危機管理にかかるマニュアル等の策定に奔走され、今日の消防本部の危機管理体制の確立に寄与されました。



危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章

ふじい あきひろ  
**藤井 昭広氏**  
(水口町巖峨)

昭和48年に甲賀郡行政事務組合甲賀郡消防本部に消防吏員として奉職され、39年の長きにわたり消防業務に精励されました。

平成7年に発生した阪神淡路大震災では、消防隊として最前線で活動されました。平成22年4月に消防総務課長に就任され、その翌年に起こった東日本大震災へ緊急消防援助隊が派遣された際には、後方支援として、資機材や車両、食料の手配などの指揮をとられました。

平成23年には、消防署長として、長年培われた知識や技術、経験を職員へ継承し、指導育成に尽力されました。



高齢者叙勲 旭日単光章

いちい ぜんいちろう  
**市井 善一郎氏**  
(土山町大野)

昭和54年に土山町議会議員に当選されて以来、平成3年まで3期12年の長きにわたりご活躍されました。

この間、土山町議会議長などの要職を歴任され、地域住民の声を町行政に届けるとともに、多くの諸課題に積極的かつ精力的に取り組み、円滑な地方行政の推進と町発展のために奔走、地域の課題の早期解決に向け、鋭意尽力されました。



高齢者叙勲 瑞宝双光章

ひろせ よしお  
**廣瀬 善雄氏**  
(水口町山)

昭和29年に奉職され、公立小学校の教諭、教頭、校長として、理科教育、同和教育、生徒指導など多くの分野領域で小学校教育に尽力されました。

校長時代には、児童や教職員はもとより、保護者や地域住民と密接に連携を図り、地域の特色を生かした学校経営に邁進されました。

平成4年に退職された後も、民生委員児童委員、公立体育館や公民館等の館長、保護司を務められるなど、社会教育や地域社会等に大きく貢献されました。

# みんなの力で乗り切ろう！ ～市内で生まれる新しい地域力～

新型コロナウイルス感染症に立ち向かおうと地域の力が集まっています。

Donation!

## 地域貢献×生涯学習の輪 ～夢の学習による手作りマスク～

NPO法人「地域で創る土曜日夢の学習」では、市内からボランティアの方々が集まり、お手玉やマスクを手作りし、少しでも役立ててもらおうと社会福祉協議会や市へ寄贈されています。



新型コロナウイルス感染症の影響により、本来の「夢の学習」事業は中止せざるを得ず、ボランティアの方々にとって活動がないため、つながりが少なくなっている状況でした。今回の活動を通じてボランティアの方々にとってもやりがいや生きがいづくりにつながっており、生涯学習の輪も広がっています。

なお、今後も多くの方に活用いただくため、手作りマスクキットを公民館等で無償配布されています。

詳細は夢の学習ホームページまで



▲手作りされたマスク

Take out!

## テイクアウトしませんか？ ～“美味しい”はコロナに負けないエール飯で応援～

観光客の減少や外出自粛により飲食店は、これまでにない大きな影響を受けています。こうした状況を何とかしようと、飲食業組合などの有志が集まり、テイクアウトプロジェクトが立ち上がりました。大分県別府市から始まったこの取り組みは全国的にも広がっています。

現在は、信楽地域、水口・甲南地域で各店の持ち帰り弁当や宅配メニュー等を掲載したチラシを作成され、購入者からのInstagramやフェイスブックなどのSNSを通じた情報発信により、その効果はますます広がっています。

この他にも、市内ではこの状況を乗り切ろうと、それぞれのお店が工夫をされています。

たまにはテイクアウトしてみませんか？

「# エール飯」のチラシはこちらから▼



#信楽エール飯



#水口甲南エール飯

